

2021年5月27日

株式会社京葉銀行



燃料電池自動車の新型車両の導入について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、2021年5月25日（火）、新型の燃料電池自動車「MIRAI」を導入しましたので、お知らせいたします。

【背景】

当行はこれまで、地域経済の発展と環境負荷低減、環境保全に取り組んでまいりましたが、SDGsへの取り組みを一層強化するため、2021年4月、「SDGs宣言」を制定し、公表いたしました。

営業用車両についても、すでにハイブリッド車やプラグインハイブリッド車、電気自動車などを導入済みであり、低炭素・循環型社会の実現を目指しております。

【目的】

新型「MIRAI」は二酸化炭素排出量がゼロであることに加え、発電のため走行時に吸入した空気をきれいにして排出する“空気清浄”システムを搭載しており、本部営業用車両として活用し、環境に配慮した活動を展開してまいります。

当行は今後も、SDGs達成に向けて、社会課題の解決に取り組んでまいります。



以上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)】

2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。